



## PRESS RELEASE

報道関係 各位

2025年1月24日

一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟

公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会

# 天皇杯 第50回記念日本車いすバスケットボール選手権大会 × 国際パラリンピック委員会公認教材『I'mPOSSIBLE』日本版 競技団体主催大会とパラリンピック教育との初の連携

日本車いすバスケットボール連盟(JWBF)と日本パラリンピック委員会(JPC)は、インクルーシブな視点を育むための共同教育プログラムを実施しました。国際パラリンピック委員会(IPC)公認教材『I'mPOSSIBLE(アイムポッシブル)』日本版を活用した座学、車いすバスケットボールの体験会、そして天皇杯 第50回記念日本車いすバスケットボール選手権大会(以下天皇杯)の観戦という、3つの要素で構成されています。

プログラムの第一段階では、『I'mPOSSIBLE』日本版を使い、子どもたちが多様性やインクルージョンについて学ぶ座学を実施。続いて、パラアスリートと直接触れ合う体験会を通じて、障害理解や車いすバスケットボールの競技に対する理解を深める機会が設けられました。プログラムの最終段階では、天皇杯を観戦し、競技の実際のプレーを目の当たりにしながら、スポーツを通じたインクルーシブな社会の実現を考える場を提供します。

これは、JWBFが新たに策定した中長期計画の理念に基づいた取り組みのひとつで、JPC加盟競技団体と『I'mPOSSIBLE』日本版事務局とが公式な連携を行った初めての教育事業です。なお、プログラムに参加した子どもたちの意識の変容や、教育プログラムの効果測定も行っており、その結果は後日報告予定です。

## 田中晃 JWBF 会長コメント

「JWBFでは、車いすバスケットボールの普及・競技力の向上だけでなく、地域の子供たち、更には寛容な社会の実現に貢献することを中長期計画を通して打ち出しています。この度は、車いすバスケットボールを通して、教育現場の皆様と地域の子供たちと共に生き生きと輝く地域社会の発展を目指したプロジェクトに参画することになりました。全国各地で活躍する多くの車いすバスケットボール選手たちと一緒に、この取り組みを広げていきたいと思っています。」

## マセソン美季 JPC『I'mPOSSIBLE』日本版事務局プロジェクトリーダーコメント

「パラスポーツを体験したり観戦したりするだけでは、インクルーシブな社会の担い手を育てることはできません。JWBFとの連携を通じて、子どもたちがインクルーシブな視点を深く学び、実際に体験を通じて理解を深める機会を提供できたことを嬉しく思います。この取り組みを通じて、さらに多くの子どもたちがインクルーシブな社会づくりの牽引者になるよう、活動を広げていきたいと考えています。」



## <参考>

### 1. JWBF 中長期計画とは(詳細はこちら <https://jwbf.gr.jp/federation/plan/202306.pdf>)

JWBF(日本車いすバスケットボール連盟)は、車いすバスケの普及と振興を通じて、障害者の社会参加と理解を促進し、バリアフリー社会の実現を目指しています。2030年に向けた中長期計画では、以下の3つの理念をよりどころにして、全国10ブロックに所属する多くの車いすバスケットボールチームや選手たちと共に取り組んでいく計画です。

- For Everyone: 車いすバスケットボールの普及、および競技力向上と世界での飛躍を促進する
- For Future: 子どもたちへのアプローチを通して、ともに生き生きと輝く地域社会の発展に寄与する
- For Society: 互いを尊重し、認め合う寛容な社会の実現に貢献する

### 2. 天皇杯 第50回記念日本車いすバスケットボール選手権大会とは

車いすバスケットボールのクラブ日本一を決定する国内唯一の大会

(詳細はこちら <https://jwbf.gr.jp/tournaments/222>)

### 3. 『I'mPOSSIBLE』日本版とは

『I'mPOSSIBLE』は、国際パラリンピック委員会(IPC)が開発した教育プログラムで約40か国で活用されています。世界中の子どもたちがパラスポーツを題材に、パラリンピックの価値や、インクルーシブな世界作りに必要な理念を理解できるよう制作されたものです。

IPCが制作した国際版教材をもとに、日本の教育現場での活用のしやすさを考慮し、JPCと日本財団パラスポーツサポートセンターが公益財団法人ベネッセこども基金の協力のもと共同で開発しました。現在はJPCが教材の制作および普及活動を担っており、2024年3月にはアニメーション教材も加わりました。2025年春には、更にアニメーション教材が加わります。

誰も取り残さず、様々な違いのある人たちと一緒に楽しく活動するための考え方のヒントや、公平について考えさせる話題、人権感覚を育むきっかけなども含まれています。総合の学習、体育(体育理論)、道徳(公正・公平)、家庭科(バリアフリー)などの授業の他、人権教育などでもご活用いただいています。

『I'mPOSSIBLE』日本版公式サイト(<https://iam-possible.online/>)より、無償で利用できます。

#### <本件に関するお問合せ先>

\*天皇杯および JWBF 中長期計画に関すること

日本車いすバスケットボール連盟

Email: [jwbfoffice@jwbf.gr.jp](mailto:jwbfoffice@jwbf.gr.jp)

\*『I'mPOSSIBLE』日本版に関すること

JPC『I'mPOSSIBLE』日本版事務局

E-mail: [paraedu@parasports.or.jp](mailto:paraedu@parasports.or.jp)

(公財)日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会 広報課

E-mail: [jpcjpsa-media@parasports.or.jp](mailto:jpcjpsa-media@parasports.or.jp)